

令和5年度 1月号

令和6年1月12日発行
横浜市立東汲沢小学校

“輝け！ひぐみっ子”だより

～東汲沢小学校教育目標「学びあい 高めあい まちとともにあゆむ ひぐみっ子」～



☎861-5531

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashigumisawa/>

元日小景

校長 丹羽正昇

新しい年を迎えました。旧年中は、本校の教育への多くのご協力とご理解を頂戴しました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

今年は辰年。飛躍や変化の年ともいわれています。ひぐみっ子が大いに活躍する中で、自分の成長(変化)を柔軟に受け入れ、友達や仲間との豊かな学校生活を楽しむ。そんな毎日になるように、職員一同、努力と工夫を重ねていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、題にあります「小景」とは、印象に残っている一風景を意味します。私のお正月の印象的な風景は、師走のあわただしさから解放され、あくせくすることなく過ぎる、なんとなくゆったりとした気持ちで過ごす日々です。実はこれ、子どもころの風景です。大人になって(特に働きだして)からは、一度も味わったことのないものでもあります。俗に「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」とも形容されるように、年度末までの三か月間は息つく暇もないほどの毎日の連続です。

ところが、子どもころ見ていた大人は、もっとゆったりと過ごしていたように記憶しています。元日の親戚の集まりから始まった正月。親戚中が祖父母の家が集まると、いつもは静かな家も、ぱっと賑やかで華やかになった気がしました。親戚と交わす新年のあいさつ。にこにこしながら、お年玉袋の中を確認するように言う親戚のおじさん。それをたしなめ、安心してねと声をかけるおばさん。たまにしか合わないけれど、すぐ仲良くなって正月遊びをしたいとこたち。人が集まって新年を祝い喜びあう姿や時間は、子どもの私にはスローモーションのように映っていたのかもしれませんが。そして、ゆったりとした時間を演出した極めつけは、いつまでも続くように感じた祖父の年頭のあいさつでした。ゆっくりゆっくり新年の抱負や家族みんなの幸せを願う祖父の語り。毎年同じような内容なのに、みんな真剣に聞き入っていました。そんな元日の風景で、ひと際印象的だったのが祖母の顔です。元日の宴が済んで、夜、ひと家族、またひと家族と祖父母の家から帰っていく姿を見送る祖母。気をつけて帰るんだよと、それぞれの家族を気遣う横顔と声は、どこか寂し気でした。

何気なく眺めている風景の中に、実は多くの幸せが詰まっている。ひぐみっ子の日常の中にも、きっとたくさん印象的な風景があり、いつか懐かしむときがくる。だからこそ、毎日を一生懸命に、大切に生きていく必要があるのかもしれません。



ひぐみの事務室から

学校事務職員 坂本 遼

皆さまは「学校事務職員」もしくは「学校の事務室」にどのようなイメージをおもちでしょうか。一日中パソコンや電卓とにらめっこして、書類の山に囲まれながら事務作業をしているイメージがあるでしょうか。実際は、パソコンの前に座っている以外の時間がかかなり多くあります。学習中のひぐみっ子を観察したり、様々な業務に携わる本校職員とコミュニケーションを取ったり、学校の中にある物品を整理したりと、席にいない時間のほうが多い日もあるくらいです。

学校事務職員の仕事を表すとき“学校の「カネ・ヒト・モノ」を管理すること”と言われることがありますが、そのためには学校のことを知ることがなによりも大切だと考えています。ここまでの9か月間、少しずつではありますがひぐみやひぐみっ子を知ることができました。学校内を歩き回っていると出会えるひぐみっ子や職員の真剣な姿はもちろん、「だれ先生?」「あ、事務の先生だ!」といったひぐみっ子の声を励みに、学校事務職員としてできることを考えていきたいと思えます。これからもよろしくお願いいたします。



子どもたちがいつでも良質な本に触れられる環境を

学校司書 森 順子

子どもたちの“読みたい!知りたい!”をサポートする学校司書の主な仕事は読書支援と授業支援です。私と子どもとの対話で、子どもがイメージに合った本に出会えた時は司書冥利につきます。一方で、友達からの「これ面白いよ!」の一言は、ほぼ百発百中で読みたい本に出会えることが多いです。そこで、読書支援ではブックトークの他に味見読書を取り入れています。グループで制限時間内に試し読みして、紹介し合うことで貸出しに繋がるのです。授業では調べ学習や関連読書の支援も行っています。また、校長や副校長、司書教諭、学校司書からなる選書委員会で本の選定を行っています。ボランティアの皆様の協力を得ながらの本の修理や廃棄も、子どもたちがいつでも良質な本に触れられる環境を整えるために欠かせません。ありがとうございます。